

II 下水道を広げる大分市の計画

よごれた水はどれくらいきれいにされているか

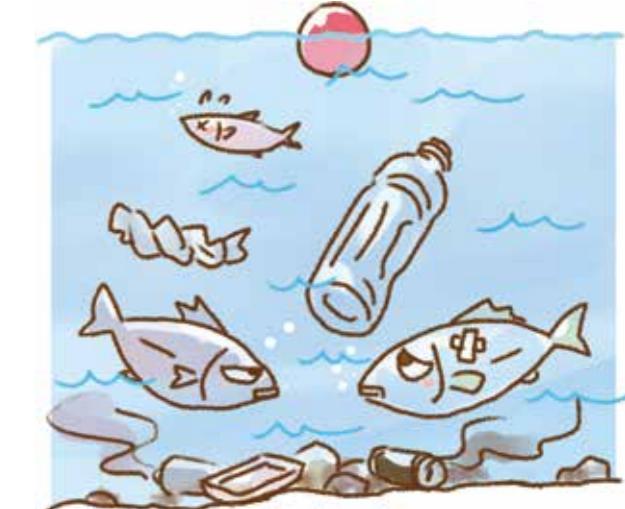


よごれた水がそのまま川や海へ流れる
川や海の問題

遊べない川



魚のすみにくい川



あかしお
赤潮で死んだ魚

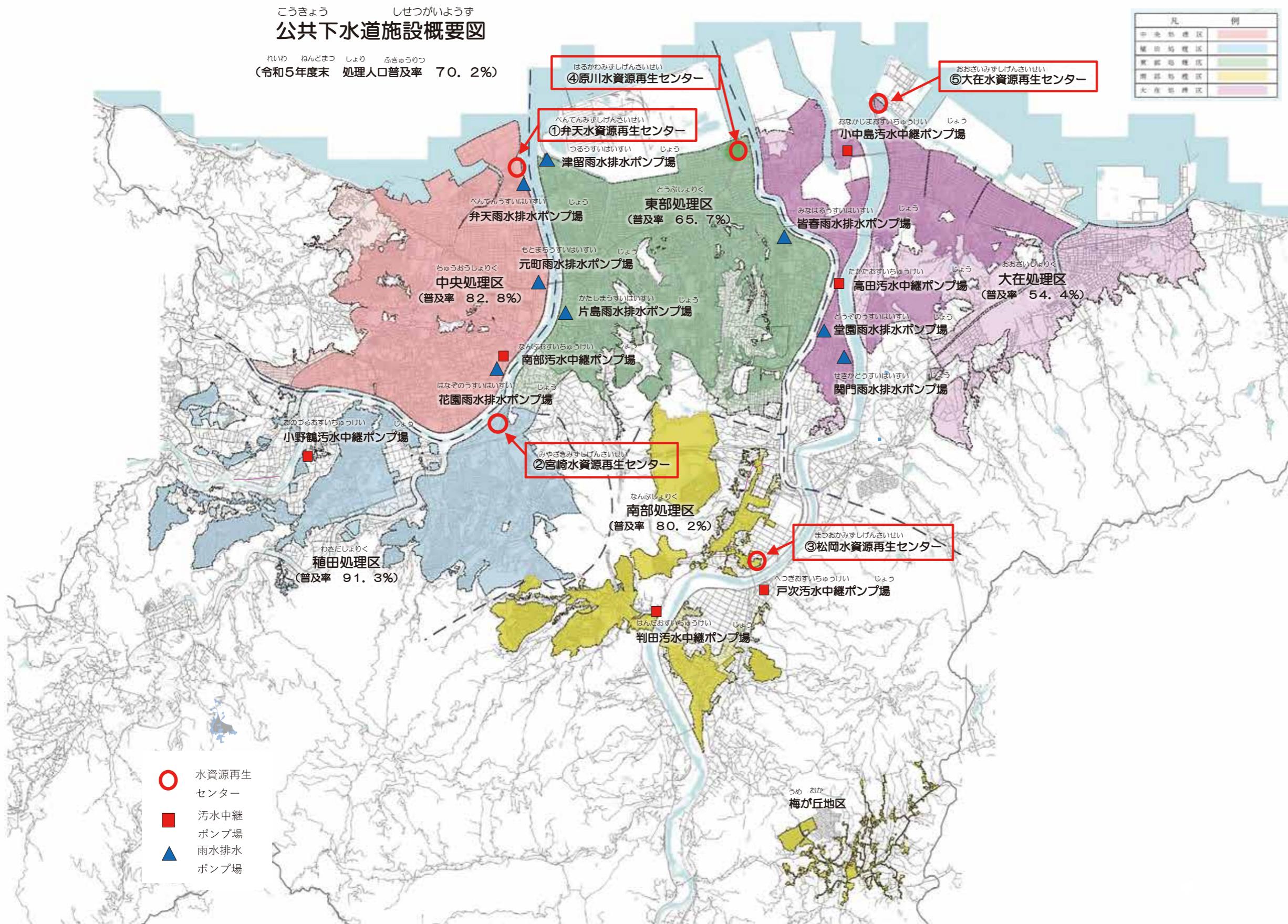
大雨がふったあとの道路の問題



全部きれいに
できれば
いいのになあ



よごれた水はどこできれいにされているか



①弁天水資源再生センター



②宮崎水資源再生センター



③松岡水資源再生センター



④原川水資源再生センター



⑤大在水資源再生センター



広がる下水道



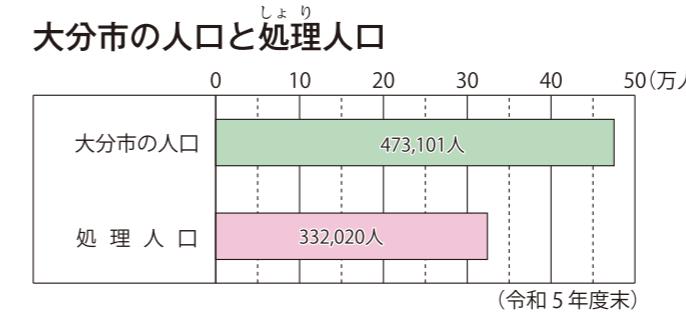
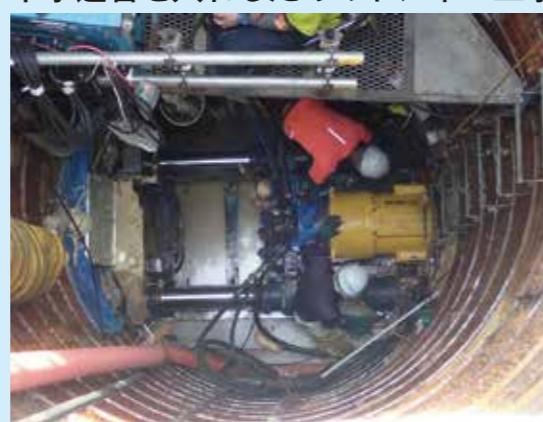
上下水道局の人の話

みずしげんさいせい
水資源再生センターは、よごれた水をきれいにするとても大切なところです

大分市は、よごれた水を水資源再生センターまで運ぶため、昭和41年に明野地区から下水道をとおす工事をはじめ、その後、敷戸、西大分、植田、中央から、東部、大在、南部とその範囲を広げてきました。今ではよごれた水の約70%を処理できるようになりましたがじゅうぶんとはいえません。わたしたちは、大分市に住む多くの人々が下水道を利用できるようにと、工事を進めているので 下水道管を入れるためのトンネル工事をす。

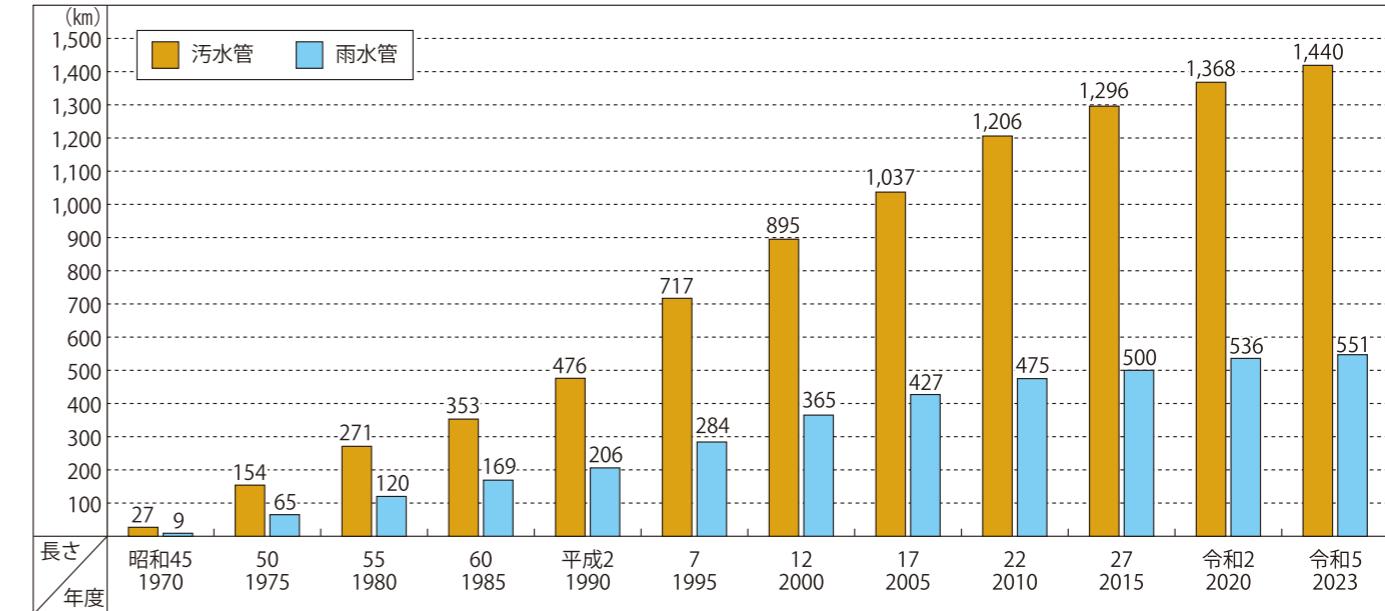
下水道の工事は、とてもお金がかかります。
令和5年度は1年間に約101億円を使いました。
そのほかにも機械の運転や修理の費用、働く人の給料などに約32億円かかりました。

これからも、みんなの協力をえて、将来、
市民のみなさんが、きれいな環境で衛生的に生
活できるように、下水道を広げていきます。



令和5年には、
下水道管は、
こんなに長くなったんだよ

下水道管の長さの変化 (大分市)



下水道を守る



中央かんり室
水資源再生センターにはたくさんの機械があります。ポンプや空気を送る機械を動かしているのがこの中央かんり室です。
どこかこしょうしたりするとモニターすぐに分かるようになっています。

水質検査
下水をきれいにして、川や海に流すまでには、何回も水の検査をします。処理場に流れついた水、エアレーションタンクの中の水、処理が終わって流れ出る水と、くりかえし検査をしながら水がきれいになったかどうかをたしかめます。

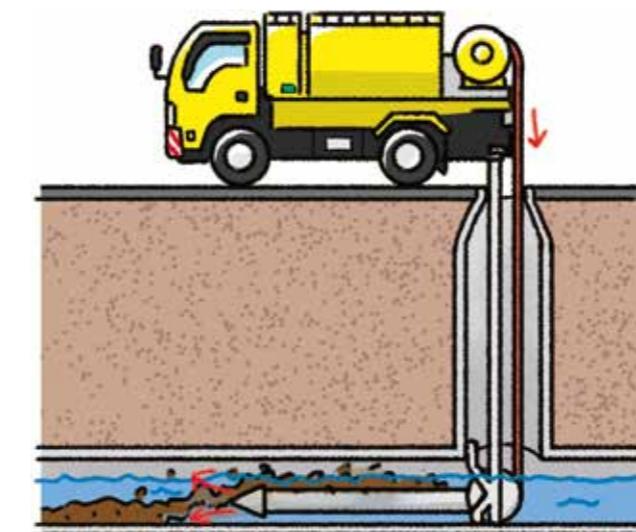


下水道管点検用カメラ
下水道管は道路の下にうめられているので、車の重みやしん動でひびわれたり、つなぎ目がずれたりすることがあります。点検用カメラは、小さなきずまで見つけます。

下水道管のそうじ

小さな管

こうあつせんじょうしゃ
高圧洗浄車

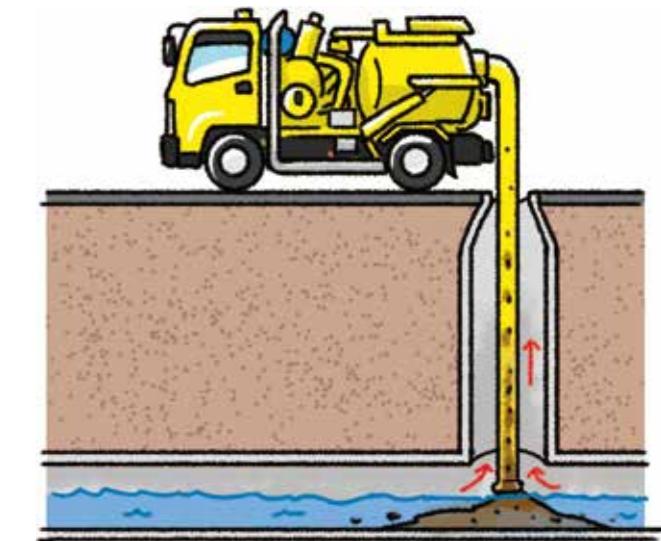


大きな管

しゅうり
下水道管の修理



バキューム車



下水道管のそうじ



作業する方たちは
たいへんだなあ



下水道を使うときの注意

上下水道局の人的話

下水道は、自然を守り、みんなのくらしやすい環境をつくるために大切なはたらきをしています。よごれた水をそのまま流すと川や海がよごれ、そこに住んでいる生き物や植物に大きなひ害をおよぼします。また、下水道はみんなが楽しく気持ちよく生活できる環境をつくることにも役立っています。わたしたちは研究をかさね、よごれた水をきれいな水に変えて川や海にもどすようがんばっています。

しかし、下水道は何でも流してよいというものではありません。

水資源再生センターに運ばれてくるよごれた水の中には、いろいろなものが入っていて困ることがよくあります。髪の毛や洗ざい、油などが多いのですが、ときどき紙おむつが入っているときがあります。それを取りのぞく仕事も大変ですが、パイプにきずをつけたり、つまらせたりするので、流さないよう気をつけてほしいと思います。

下水道は、みんなが使うものです。一人ひとりが大切に使ってください。



紙おむつを流すと、つまったり、とりのぞくときに管にきずがついたりします。



トイレットペーパーの紙は水にとけないので、管がつまります。



食べものの残りカスや、はしなどを流すと、下水道管をつまらせるもとになります。

また、油などを流すと管のカベについてとれなくなります。



落ち葉や木の枝・空き缶などは管をつまらせます。



ラード（油）が付着した下水道管



アルコールやガソリンなどを流すと、とても危険です。



一人ひとりが
大切に
使わないと…

